

ほっとアングル Hot Angle



五色姫復活祭



3月26日、伊予路に春を呼ぶ祭典『第18回女性の祭典五色姫復活祭』が、五色姫海浜公園や灘町商店街を中心に開催されました。

18代目の五色姫に選ばれたのは、左から、山崎渚さん（双海町上灘）、坂東歩美さん（松山市）、仁野葉月さん（米湊）、浅井千春さん（本郡）、鎌田佳恵さん（米湊）。この祭典は、平家の5人の姫が海に身を投げ、5色の石になってしまったと伝えられる「五色姫伝説」にちなんだもので、五色（赤・黄・緑・白・黒）の衣装を身にまとった五色姫は、稚児行列とともに灘町商店街をパレード。途中、「五色の石に願い事をする、その願いがかなえられる」と言い伝えられている「ねがい石」や五色姫のイメージフラワー「忘れな草」を見物人にプレゼントしました。ほかにも、女性みこしのかきくらべがあり、華やかなお祭りとなりました。

伊予ライオンズクラブ 五色姫ブロンズ像を寄贈

3月26日、五色姫復活祭の開催に先駆けて、町家に五色姫のブロンズ像が建立され、除幕式が行われました。

このブロンズ像は、伊予ライオンズクラブが創立40周年を記念して寄贈したもので、五色姫の姿の像を手掛けたのは、双海町で美術館を所有する堀内健二さん。まちの交流拠点のシンボルになってほしいとの思いで、町家に設置されました。





市内小学生、明神山交流ハイキング

3月28日、合併1周年を記念し、市教育委員会が主催する『明神山交流ハイキング』が行われました。

市内の小学校4年生から6年生までの児童100人と保護者、教員などが、明神山（標高634m）の登山に挑戦しました。旧市町の3方向から出発し、それぞれに犬寄を経由して、尾根づたいに進み、山頂での合流を目指しました。

途中からは、林の中の木々をかき分けながら進み、お昼前には全員無事に山頂に到着しました。ところが、天気が急変。風向きが変わった途端に雨となり、雨具を装着して下山となりました。

参加者は、登頂した達成感と山の天候の急激な変化を身をもって感じる事ができ、貴重な体験になったようです。



中山フラワーハウスフェスティバル

3月26日、なかやまフラワーハウスで『なかやまフラワーハウスフェスティバル』が開催されました。

会場では、君子蘭やストック、ミニバラなど、色とりどりの花が展示・即売されており、購入する人は育て方のアドバイスを受けていました。また、寄せ植えコンテストやフラワーアレンジメントなどの催しもあり、来場者は花に囲まれた楽しいひとときを過ごしました。



国際交流を考える懇談会

3月18日、さざなみ館で『伊予市の国際交流を育てる交流・懇談会』が開催されました。国際交流活動をしている市民と市内に在住、留学している外国人がお互いの親睦を深めようと企画されたもので、柔道の指導などを通して国際交流を行っている松下文治さんをコーディネーターに招き、活発な意見交換会となりました。



夕焼けぴちぴち市オープン

4月8日、双海地区しもなだ運動公園内に水産加工販売施設『夕焼けぴちぴち市』がオープンし、落成式が開催されました。

豊田漁港で水揚げされたばかりの新鮮な魚や地元特産品の網めし・じゃこ天などを漁協女性部の元気なお母さんたちが販売しており、たいへんな賑わいをみせていました。



交通安全街頭キャンペーン

4月6日から15日にかけて実施された「春の全国交通安全運動」ともなあって、6日に伊予警察署前の国道沿いで、『五色姫一日警察官交通安全街頭キャンペーン』が行われました。

今年選ばれた五色姫が一日警察官となり、通りかかった車に交通安全のチラシや夜間に使用する反射材などを配り、安全運転を呼びかけました。